朝鮮豆知識



朝鮮民主主義人民共和国・外国文出版社
2025

朝鮮豆知識

朝鮮民主主義人民共和国・外国文出版社
2025

目　次

1．朝鮮概観

地理的位置

朝鮮はアジア大陸の東の方に位置している。

経度上、東経124° 10′ 51″から東経130° 41′ 52″の間、緯度上、北緯37° 37′ 55″から北緯43° 00′ 32″の間に位置している。

北は中国やロシアと、南は韓国と国境を接しており、東と西は朝鮮東海と朝鮮西海に面している。

面積と地形

朝鮮の面積は12万3427平方キロメートルであり、その中で島の面積は229平方キロメートルである。

地形の基本特徴は山地が多いことで

あり、国土面積の約80%が山地となっている。

平均海抜は581メートルである。

山脈

朝鮮の全ての山脈は白頭大山脈から伸びている。

白頭大山脈は白頭山脈、赴戦嶺山脈、北大峰山脈、馬息嶺山脈、鉄嶺山脈をはじめとする多数の山脈からなっている。

白頭大山脈の平均標高は1380メートル、長さは953キロメートルであり、主峰は白頭山の将軍峰(2750メートル)である。

河川

朝鮮は河川の多い国である。

代表的な河川は鴨緑江、豆満江、大同江などである。

朝鮮の河川は水源が豊富で、水質もよいのが特徴である。

気候

朝鮮は、アジア大陸と太平洋が接した地域にあるため、大陸性気候と海洋的気候の特性が比較的よく現れる。

気候は、春、夏、秋、冬といった四季の区別がはっきりした温帯気候である。

行政区域

朝鮮は、首都の平壌市と9つの道(平安南道、平安北道、黄海南道、黄海北道、慈江道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道、両江道)、3つ

の直轄市(南浦市、羅先市、開城市)に区分されている。

道と直轄市は市(区域)、郡、里(邑、区、洞)からなっている。

現代朝鮮

抗日革命闘争

朝鮮の歴史には、偉大な領袖金日成（キムイルソン）主席の賢明な指導の下、20星霜にわたって日本の侵略者に抗して繰り広げられた抗日革命闘争が記録されている。

抗日革命闘争は、金日成主席が創始した初めての独創的な革命思想であるチュチェ思想の旗の下、朝鮮人民自らの力に依拠して帝国主義侵略者を撃退し、国の独立を達成した最も高い形態の革命戦争であり、国家的後方も正規軍の支援もなしに強大な敵

と戦って勝利した、類例なく困難かつ長期的な革命闘争であった。

また、植民地従属国の人民に帝国主義者に抗する武装闘争の先駆的模範を示し、人民解放闘争の新しい歴史的時代を切り開いた偉大な革命闘争であった。

抗日革命闘争は、チュチェ思想の旗の下に勝利のうちに行われた世界最初の植民地人民解放戦争であり、それは世界革命の発展に大いに寄与した。

朝鮮の解放

1945年8月15日、朝鮮人民は祖国解放という歴史的偉業を成し遂げた。

金日成主席の賢明な指導の下に行われた抗日革命闘争の結果、朝鮮人民は、40年間にわたる日本帝国主義の植民地支配にピリオドを打ち、国の独立と解放を成就した。

朝鮮の解放は、朝鮮人民の運命開拓に根本的な転機をもたらした一大慶事であり、自主独立国家建設の広い道を開いた歴史的出来事であった。

朝鮮労働党の創立

朝鮮労働党は1945年10月10日に創立された。

金日成主席は、長期の抗日革命闘争で鍛えられ育てられた共産主義者を中核とし、国内外の各地方で活動していた共産主義者を結集して党を創立した。

朝鮮労働党は党中央を宣布する方法ではなく、党の基層組織をまず結成し、それを拡大・強化する方法で創立された。これはどの国でも見られない独創的な方法であった。

朝鮮労働党は、チュチェ思想を指導指針

として建設され、それに基づいて一つの思想・意志で統一団結された大衆的党、人民大衆のために闘うチュチェ型の革命的党である。

朝鮮人民軍の創建

1948年2月8日、正規の革命武力である朝鮮人民軍が創建された。

朝鮮人民軍は、抗日革命闘争の革命伝統を継承した栄えある軍隊であり、労働者、農民をはじめとする勤労人民の優れた息子・娘で組織された真の人民の軍隊であり、人民の安寧と幸福のために、帝国主義侵略勢力に反対して戦う軍隊である。

朝鮮人民軍の創建により、自力で国と人民の自主権と革命の獲得物、人民の幸福を守り抜くことのできる自主独立国家の革命武力がしっかり準備されるようになった。

朝鮮民主主義人民共和国の創建

朝鮮民主主義人民共和国は、全ての朝鮮人民の総意により、1948年9月9日に創建された。

朝鮮民主主義人民共和国は、金日成主席が抗日革命闘争の過程で築いた栄えある革命伝統を継承し、全ての朝鮮人民の総意によって建てられた国家であり、労働者、農民をはじめとする勤労人民の利益を代表し、彼らの自主性を徹底的に擁護する真の人民の国家である。

朝鮮民主主義人民共和国の創建により、朝鮮人民は歴史上初めて国家と社会の真の主人として自己の運命を自主的に切り開いていく尊厳ある人民となり、朝鮮は堂々たる自主独立国家として国際舞台に進出するようになった。

朝鮮民主主義人民共和国は、広範な人民

大衆を国家活動に参加させる最も民主的な国家であり、労働者、農民をはじめとする全ての朝鮮人民に政治的自由と権利、幸福な物質・文化生活を保障する真の人民の国家である。

首都

朝鮮民主主義人民共和国の首都は平壌である。

金日成主席(1912～1994)によって1948年9月9日、朝鮮民主主義人民共和国が創建された時から、首都としての平壌の新しい歴史が始まった。

国の政治、経済、文化の中心地、近代的な都市に変貌している平壌には、教育、保健医療、スポーツ、芸術をはじめとする文化機関、科学研究機関が位置している。

国家象徴

国章

朝鮮民主主義人民共和国国章は、「朝鮮民主主義人民共和国」と記した赤帯をまいた稲穂の楕円形の枠の中に壮大な水力発電所を配し、その上に革命の聖山―白頭山と、燦然と輝く赤の五角星がある。

国章の上部にある白頭山と燦然と輝く赤い五角星は、共和国の継承している革命伝統と、チュチェの革命偉業の完成のために力強く前進していく朝鮮人民の明るい将来を象徴している。

国章は、赤帯とその上に記された国号によって、共和国の不敗の威力をはっきり象徴している。

「朝鮮民主主義人民共和国」という国号には、国家建設と活動において民主主義を

最大限保障して人民大衆が国家主権の真の主人として国家活動に参加し、人民民主主義独裁を強化して階級の敵には徹底した独裁を実施し、労働者、農民をはじめ勤労人民大衆には真の政治的自由と権利、幸福な物質・文化生活を保障する共和国の性格と使命がはっきり反映されている。

国旗

朝鮮民主主義人民共和国国旗は、旗の中央に幅の広い赤地があり、その上下に細い白地があり、そのつぎに青地があり、赤地の旗竿寄りの白い円の中に赤の五角星がある。

国旗の赤色は、抗日革命烈士の血潮と団結した朝鮮人民の威力を象徴している。

国旗の白い円と二つの細い白地は、朝鮮民主主義人民共和国は人民が主人になり、

人民の絶対的な支持と信頼を受ける真の人民の国であるということと、党と領袖の指導に純潔な心で従う人民の忠誠心を形象化しており、また昔から清廉潔白、純潔、端正を象徴する白色をとりわけ好む朝鮮人民の情緒的要求が盛り込まれている。

国旗の上下にある二つの青地は、この地に自主的かつ富強な国家を建設するために闘う朝鮮人民の雄々しい姿と、世界の平和と進歩を志向する精神を反映している。

赤い五角星は、共和国政権が全面的に継承している抗日革命闘争の栄えある伝統、チュチェの革命偉業の完成のために闘う朝鮮人民の気概、星のように永遠に光を放って繁栄する共和国の明るい将来を象徴している。

共和国旗は、縦と横の比が1:2の長方形である。

国歌

朝鮮民主主義人民共和国国歌(作詞　朴世永、作曲　金元均)は、日本帝国主義の軍事占領(1905～1945)から解放された朝鮮人民が国の主人となって新しい祖国を建設していた歴史的時期である1947年に創作された。

歌謡は、朝鮮の美しい自然と悠久の歴史と伝統、人民の気高い祖国愛、栄えある闘争伝統を代を継いで末永く輝かせ、共和国を永遠なる人民の国に万邦に轟かせようとする人民の不屈の意志を謳歌している。

歌詞の「朝は輝け　大地」という句は、昔から朝日の昇る国と呼ばれている朝鮮に生を享けた大きな誇りを抱いている朝鮮人民の思想・感情を反映している。

また人類発祥地の一つであり、5000年の歴史国として燦然たる大同江文化を開花させてきた朝鮮に対する自負心を「5000年の歴史と」「きらめく文化　育てし」という重厚な意味の深い詩語で表した。

そして、「全て捧げ　この地とわに守らん」という詩語によって、愛国の一念をもって代を継いでとわに輝かせていこうと強調している。

歌謡は荘重な音楽上の緻密な調和、優雅な音楽的情緒によって、人民から熱烈に愛され、広く歌われている。

2. 人民の国

就業

国家は、労働年齢(17歳)に至った全ての公民に性別、民族別、社会的所属にかかわりなく希望と才能によって職業を選択する権利を与え、安定した職場と労働条件を保障する。

国家が全ての公民に職を保障することによって、朝鮮には失業者がいない。

朝鮮では労働部門の特性に従って、一日の労働時間を8時間、7時間、6時間などとそれぞれ違って定めている。

少年労働が禁止されており、女性労働者は特別な保護を受ける。

収入と消費

朝鮮では勤労者に労働の質と量による報酬を与えている。

同じ職種、同じ仕事に従事する場合、労働の質と量に差がない限り、男女間の労働報酬には差別がない。

賞金、奨励金、加算金をはじめとする追加的労働報酬も適用する。

炭鉱、鉱山、林業部門をはじめ部門別の勤続年限加算金制を実施しており、技術者には勤続年限と資格、学位に従って加算金を支払う。

計画遂行、コスト低下、品質向上、重要な原材料の節約、技術革新などによる奨励金制も適用する。

公民が国家から受けた報酬は、個人と家庭の物質的・文化的要求を充足させるのに消費される。

無料教育の実施、国家が住宅を建てて無償で割り当てる社会主義的施策など、各種の社会的恩恵により、公民の消費項目にはこのような領域が含まれない。

住宅

朝鮮では、国家が住宅を建てて公民に無償で割り当てる。

国家では、全国の人民の生活環境を完全に一新する雄大な目標を掲げ、これを実現するための住宅建設を大々的に行っている。

教育

普通教育

朝鮮には全般的12年制義務教育制度が確立されている。

全般的12年制義務教育制度は、1年間の就学前教育と5年制小学校、3年制初級中学校、3年制高級中学校の教育からなっている。

地方政権機関と教育機関は、当該地域で就学年齢に達した全ての子どもたちを漏れなく掌握して入学させ、彼らの父母または保護者は、子どもを入学させる義務を負っている。

国家は子どもたちに制服や学用品、かばん、靴など学業に必要な必須用品を国家の負担で供給する。

朝鮮では、深い山奥や離れ島など住民数の少ないところにも学校を設け、障害児を含む全ての子どもに義務教育を施している。

高等教育

国家は全ての学生に、自分の才能と希望によって高等教育を受けられる十分な条件を提供している。

朝鮮には、金日成総合大学、金策工業総合大学、平壌医科大学、理科大学をはじめとする多くの大学がある。また、現職に勤める勤労者が高等教育を受けられるように遠隔教育システムも確立されている。大学の学制は普通4年であり、専攻分野に従って具体的な教育年限を定めている。

朝鮮における中等義務教育はもとより、高等教育も無料である。国家は高等教育を受ける全ての学生に奨学金を、特別に学業成績の優れた学生には特別奨学金を、働きながら学ぶ学生には現職生活費を支給している。

国家は大学生にも制服やかばん、靴、学用品を供給する。

職業教育

朝鮮では中等及び高等教育段階で技術教育(職業教育)を施す。

就業前の技術教育は、地域別の特性に従って全国各地に配置されている技術高級

中学校と技術大学で施しており、就業後の技術教育は工場、企業で行っている。

就業後の技術教育においては、工場、企業、農場に設けられた科学技術普及室が拠点となっている。勤労者たちは中央の科学技術殿堂とネットワークで結ばれた科学技術普及室で自分の職種に合う最新技術資料を閲覧しており、当該部門の講義もリアルタイムで受けられる。

朝鮮では、全人民科学技術人材化のスローガンの下、全ての勤労者が自分の職業の専門技術に精通できるように技術教育を強めている。

全人民学習の殿堂

1982年4月1日に設立された人民大学習堂は、延べ建築面積10万平方メートルで、10棟からなる10階建ての壮大な朝鮮式建築である。蔵書能力は数千万冊であり、座席数6000の20余の閲覧室と10余の講義室、複数の通報室、問答室など600余の部屋がある。

各分野の図書に対する閲覧サービスと一般講義、録音講義、ビデオ講義、要請講義、科学技術講習、科学理論講義、外国語講習などが行われる。

延べ建築面積10万6600余平方メートルの科学技術殿堂は、2016年1月1日に竣工した。科学の世界を象徴する原子構造の模様をかたどってユニークに建てられた。

科学技術殿堂は多機能化された現代科学技術普及拠点、情報交流の中心拠点であり、複数の室内科学技術展示場と科学技術普及室、数多くの電子閲覧室を持っている。科学技術書はもとより、最新科学技術的成果の諸資料及び世界の国々の先進科学

技術資料が全面的かつ体系的に電子図書化されており、科学映画をはじめとする動画及び写真など膨大なデータベースを構築している。

全国の全ての科学研究部門、教育機関、工場、企業はもちろん、家庭でもネットワークによってリアルタイムでサービスを受け、必要な科学技術資料を互いに交流できる。

課外教育の場

朝鮮には至る所に児童・生徒のための課外教育の場が整えられている。

首都平壌の万景台学生少年宮殿と平壌学生少年宮殿をはじめ全国各地に210余の学生少年宮殿、学生少年会館、少年団野営所をはじめとする課外教育の場がある。

児童・生徒はここで各自の希望と素質に

応じていろいろなサークル活動を行う。

朝鮮では学校を通じた義務教育は言うまでもなく、課外教育の場での教育活動も無料である。

少年団野営所

子どもたちを王様と押し立てる朝鮮では、名勝ごとに少年団野営所を整え、児童・生徒が楽しいキャンプ生活を送るようにしている。

全国各地のうってつけの場所に万景台少年団野営所、平壌市妙香山登山少年団野営所、松涛園国際少年団野営所など数多くの少年団野営所がある。

その中で松涛園国際少年団野営所には、朝鮮の児童・生徒だけではなく、外国の少年少女たちも来てキャンプ生活を楽しんでいる。

保健医療

保健医療システム

朝鮮には首都から道・市・郡はもちろん、末端行政単位である里(洞)に至るまで漏れなく医療サービス拠点が整えられている。工場、企業、大学にも病院、診療所があり、各学校には保健医療従事者が常駐している。

道・市・郡病院は、平壌総合病院をはじめとする近代的な中央病院、中央の専門病院と遠隔医療サービスシステムで繋がっている。

現在朝鮮では、全国の全ての市・郡に先進医療サービスを受けられる近代的な病院を10年という短期間に打ち建てる目標を掲げ、この事業を計画的に推し進めている。

予防医学

朝鮮では、病気を予防し人々の生命と健

康を保護・増進させることを社会主義保健医療の基本的任務と規定しており、これに従い、予防接種と定期検診を通じて勤労者をあらゆる疾病から守る予防医療制度を確立している。

中央と各道・市・郡に専門的な疾病予防統制機関があり、各地の病院、診療所でも治療と共に病気の予防に大きな関心を払っている。

医師は、医師区域担当制の下にそれぞれ担当した住民の健康管理に責任を持っている。

医師区域担当制

医師区域担当制は、医師が一定の住民区域を担当し、それぞれの担当区域に出向いて住民の健康状態を確かめ、予防医療活動を行う制度である。

朝鮮では、医師が一定の世帯を担当する

医師戸担当制の形で医師区域担当制を実施している。

先進的な保健医療施設

朝鮮には、2025年10月に保健医療近代化の母体拠点として建設された平壌総合病院をはじめ朝鮮赤十字総合病院、高麗医学総合病院、金萬有病院、平壌医科大学病院などの近代的な病院がある。

これと共に、2025年11月には江東郡病院が近代的な地方病院の初の実体として建設され、ついで全国の全ての市、郡に近代的な保健医療施設を建設するための事業が力強く繰り広げられている。

専門病院

首都平壌には、女性のための専門病院である平壌産院、平壌産院乳腺腫瘍研究所、

玉流児童病院、柳京眼科総合病院、柳京歯科病院などの専門病院がある。各道にも道産院と子どものための専門病院がある。

スポーツ

スポーツ施設と競技場

首都平壌には、金日成競技場(収容能力10万人)、メーデー・スタジアム(収容能力15万人)、羊角島サッカー競技場、西山サッカー競技場、平壌体育館、アイススケートリンク、青春通りスポーツ村、テコンドー殿堂、平壌ボーリング館などさまざまなスポーツ施設がある。

各道にもいろいろな競技場をはじめスポーツ施設があり、市・郡所在地と工場、企業、農場、学校にも必要なスポーツ施設が揃っている。

近年は、平壌のアイススケート・リンクをはじめとしてさまざまなスポーツ施設が新たに改築・新築された。

スポーツの大衆化

スポーツの大衆化とは、全ての人がスポーツ活動に積極的に参加し、スポーツを一つの生活日課のように正常化するということを意味する。

朝鮮では、スポーツの大衆化を実現するために学校のスポーツ活動を強めるとともに、機関、企業と農場でスポーツ活動を積極的に行い、家庭でも体力を鍛えるための運動を広く行うようにしている。

全国的な規模で模範体育郡(区域)・模範体育学校創造運動が進められており、全国人民スポーツ大会、部門別労働者スポーツ競技大会をはじめとする各種のスポーツ競技が行われている。

スポーツの日、海洋スポーツ月間などの契機に大衆的なスポーツ活動が行われる。

マスゲーム

マスゲームは、体育技巧と思想性・芸術性が結合した総合的で大衆的な体育形式である。

マスゲームは徒手運動と器材運動、隊形と造形などを基本とする多様な体育的表現手段を通じて洗練された体育技巧を見せ、背景台美術、吹奏楽とパンチャン(傍唱)、舞踊リズムなどの芸術的手段を組み合わせて高い芸術性を保障する。

マスゲームは、高い思想性・芸術性と体育技巧がよく結合した総合体育形式であり、青少年と勤労者の体を鍛え、情緒を豊かにすることにも大きく寄与している。

朝鮮のマスゲームは、その規模と形式、内容において引き続き新しい様相を見せており、新世紀に入って大マスゲーム・芸術公演に発展した。

金日成賞受賞作品である大マスゲーム・芸術公演『アリラン』と、2025年10月に行われた大マスゲーム・芸術公演『朝鮮労働党万歳』などはその代表作である。

有名なスポーツ選手

朝鮮にはオリンピック競技大会や世界選手権大会をはじめとする国際競技で金メダルを獲得した選手が少なくない。

その中には11回も世界新記録を樹立して世界陸上界の女王と呼ばれたシン・グムダン、アジア人として初めて冬季オリンピックでメダルを獲得し、銀盤の彗星と呼ばれたハン・ピルファ、世界卓球選手権大会で2連覇を成し遂げて卓球の女王と呼ばれたパク・ヨンスン、10代にしてオリンピック競技大会女子柔道48kg級で優勝し、その後、世界選手権大会の異なるkg級競技で4連覇を果たしたケ・スンヒ、世界陸上選手権大会で優勝してマラソンの女王として名を馳せたチョン・ソンオク、オリンピック競技大会で金メダルを獲得し、世界選手権大会で3度優勝した鞍馬王ペ・ギルス、世界レスリング選手権大会で2度優勝したキム・チョルファンなどがいる。

この他にも近年、国際競技で優勝して名を馳せた選手も少なくない。

文学・芸術

芸術団体

朝鮮には功勲国家合唱団、国務委員会演奏団、ワンジェサン芸術団、マンスデ芸術

団、ピバダ歌劇団、国立交響楽団など人民に愛される多くの芸術団体がある。

文学・芸術の大衆化

朝鮮では、広範な人民大衆の創造的知恵に依拠して文学・芸術を速やかに発展させるための文学・芸術活動を大衆化している。

このために、各種の形態の文学・芸術サークルを広く組織して正常に運営しており、勤労者が参加する全国的規模の文学作品懸賞募集、芸術祭典、歌謡コンクールなどがしばしば行われている。

人民芸術祭

朝鮮では、金日成主席の誕生日である4月15日と金正日（キムジョンイル）国防委員長の誕生日である2月16日に際して人民芸術祭が行われる。

芸能人や各地の工場、機関、企業、農場の芸術サークル員が参加するこの芸術祭は、朝鮮の最大規模の芸術祝典である。

4月の春親善芸術祭

1982年4月、金日成主席の誕生日に際し、国際的な芸術祭である4月の春親善芸術祭が平壌で初めて行われた。

芸術祭は自主、平和、友好の理念の下に世界各国の芸能人の友好と団結を強め、文化の交流を深めて、人類の音楽芸術を共同で発展させるのに寄与することを目的としている。

声楽、器楽、舞踊、サーカスなど舞台芸術の全ての部門を包括し、有名な芸術団、国際コンクール受賞者をはじめ世界各国の才能のある芸能人が参加する。

平壌国際映画祭

1987年に平壌で初めて行われた平壌国際映画祭は、「自主・平和・友好のために」というスローガンの下に世界各国の人民や映画人との友好を図り、交流と協力を深めることを基本的使命とする世界的な映画祭である。

映画祭では、最優秀映画賞とシナリオ賞、演出賞、撮影賞、男優演技賞、女優演技賞、美術賞、音楽賞、特別賞などが授与される。

文化・情操生活の場

首都平壌には平壌大劇場、マンスデ芸術劇場、人民劇場、東平壌大劇場、平壌サーカス劇場をはじめとする劇場と綾羅人民遊園地、紋繡遊泳場、万景台遊戯場、大城山遊園地、中央動物園、大同門映画館、国際映画会館、美林乗馬クラブなど数多くの文化・情操生活の場がある。

各道にも芸術劇場、青年野外劇場、遊園地などがある。

朝鮮の東海と西海の景色のよい所に海水浴場をはじめとする文化・情操生活の場が整えられており、特に有名なのは東海岸に立ち上がった近代的な元山葛麻海岸観光地区である。

妙香山、金剛山などの名勝に休養所も整えられており、馬息嶺スキー場のような有名なスキー場もある。

民俗

服装

朝鮮服は、遠い昔から朝鮮人民が好んで着ていた伝統的な衣服である。

朝鮮服は上と下が別々の上衣と下衣を基本とし、それに上着と下着からなっている。

男子の朝鮮服は、パジ、チョゴリ、トゥルマギからなっており、時代及び身分によって違いがあり、種類と形態も多様であった。

婦人の朝鮮服は、チョゴリ、パジ、チマ、コートからなっている。チョゴリの形態は基本的には男子用と同じであるが、全般的に丈が短く、とりわけ色彩や模様などを適切に配して美しさを強調している。

婦人のチョゴリが男子用のそれと画然と区別されるのは、回装(縁飾り)を付ける風である。

回装を付けるのは元来、汚れ易い部位に他の布を重ねて、付け替えができるように工夫したことに由来しているが、朝鮮封建王朝時代には、チョゴリを飾る重要な手段とされた。

回装は、チョゴリの袖口、襟、結び紐、脇に、それぞれ赤紫またはチョゴリの地とは異なる色の布を付けたもので、このようなチョゴリを三回装チョゴリと呼んでいる。三回装は、地色を草緑色としたものが最上とされた。

食生活

朝鮮人民は、5000年の悠久の歴史の中で固有の食生活風習を生み出し、発展させてきた。

朝鮮には飲食物の種類が多く、調理法も多様である。

朝鮮人民の食生活風習には、日常食、特別食、飴・菓子類、飲み物、それに食生活慣習と食事作法などがある。

食生活で主食は飯であり、副食物は汁、味噌・醤油、キムチその他である。

婚礼や祝祭日などに用意する特別食には、トク(餅)、クッス(麺)などの主食物とクイ(焼き物)、タン(汁物)などの副食物がある。

飴・菓子類には、飴、ユミルグァ(油密菓)、

ヨッカンジョン(飴おこし)、タシク(茶食)、スクシルグァ(熟実果)、チョングァ(正果)などがあり、飲み物には酒、茶、ファチェ(花菜)、スジョングァ(水正果)などがある。

食事の際、目上の人が箸を取った後、食べ始めるのを当然の作法としている。客がいる時は、主人がまず箸を取ってから客に勧め、珍しい料理の皿を客の近くへ移して客が自宅でのようにゆったりとした気分で食事をするよう、楽しく和やかな雰囲気をつくる。客が十分に食事をとれるように先に箸を置くことはつつしむ。

婚礼式

古くから朝鮮での婚礼は見合い、婚約、式日の取り決め、結納、結婚式の順で執り行われる。

結婚式はまず嫁方の家で行い、ついで婿

方の家で行うのが通例であった。嫁方における礼式は、花嫁を連れに来た花婿を迎え入れる礼式であり、婿方の家における礼式は、花嫁が花婿に連れられて婿方の家に行き、そこで大膳受け、婿の先祖にあいさつをする祠堂拝礼を行い、花婿の父母や一家親戚の一人一人にあいさつをする礼式であった。花婿は紗帽冠帯(官服と紗の帽子。結婚式に着る装束もこれに類した)し、花嫁は七宝丹粧(いろいろな飾り付けをした婦人用衣装)した。

現代に至っては民族的伝統を生かしながらも時代的美感に即した婚礼が行われている。

満1歳の誕生祝い

子どもが生まれて最初に迎える誕生日を記念する家族儀礼である。

昔から朝鮮人は、満1歳の誕生日を迎える

わが子にセクトン服(段だら縞の服)をはじめきれいな服を着せて祝膳の前に座らせた。

祝膳にはペクソルギ(米の粉の蒸し餅)とキビ瓊団を欠かさず乗せたが、ペクソルギにはわが子が清らかで善良な心を持つように、キビ瓊団には気高い品格を身に付けるように育てようとする父母の願いがこもっていた。この他にもいろいろな食べ物と共に米、金、本、筆、墨、硯、はさみ、糸巻き、玩具などを置いて、わが子が始めて手にする物の象徴する意味によってその才能と将来を予測しもした。

今は一家親戚や隣人は子どもに服や玩具、飲食物、扶助金などを贈り、子どもの将来を祝福しながらこの日を楽しく過ごしている。

民俗遊戯

朝鮮人民の民俗遊戯には弓術、剣術、

槍術、手搏戯のような武術練磨遊戯、ブランコ乗り、板跳び、シルム(朝鮮相撲)などの体力鍛練遊戯、農楽、仮面劇などの歌舞遊戯、ユッノリ(双六に似た遊び)、朝鮮将棋、碁などの知能競技遊戯、凧上げ、こま回し、縄跳び、そり乗り、隠れん坊、チェギ蹴りなどの子どもたちの遊戯がある。

民俗祝日

朝鮮人民は、古くから季節ごとに民俗祝日を祝う風習があった。代表的な民俗祝日は、ソルミョンジョル(旧正月)、正月大ポルム(小正月)、チュソク(中秋)などである。

ソルミョンジョルの陰暦1月1日は1年の最大の祝日である。ソルミョンジョルには、朝早く起きて目上の人に新年のあいさつをし、料理は隣近所の人たちに贈ったりお返しをしたりもし、民俗遊戯に興じた。

正月大ポルムつまり陰暦1月15日の月は、一年のうちで一番最初に昇る最も明るく大きい満月であり、朝鮮人民は昔からこの日に昇る月を真っ先に見る人に最大の幸運がもたらされるといって楽しく過ごしている。この日、綱引きなどいろいろな民族遊戯を行い、夕方日が沈む頃、裏山に登ってさし昇る満月を眺める遊びをし、五穀飯、薬飯と共に9種の山菜を取り合わせた乾菜料理なども賞味する。

チュソク（陰暦8月15日）は人々が豊年の喜びに包まれて祝う日であり、今はなき先祖に真心を尽くす日でもある。この日、新米で作った料理を持って先祖の墓参りをするのが習わしである。

3. 理想国家の建設

社会主義の全面的発展
理想社会の建設
人民大衆第一主義政治
自立の国
全面的に開花する首都
農村住宅の建設
地方の発展

社会主義の全面的発展

朝鮮は、社会主義の全面的発展を加速化して近い将来、自立・自尊によって繁栄する強国を打ち建てることを国家発展の基本的目標としている。

その内容は第一に、政治と国防建設を重視しながら経済、文化の発展にも大きな力を入れて国家社会生活の各分野を全面的に発展させることであり、第二に、人民経済の全般的部門と全ての単位を均衡的に発展させることであり、第三に、地方建設と農村建設を力強く推し進めて国の全ての地域を均等に、特色付けて発展させることである。

理想社会の建設

朝鮮人民が理想とする社会は、全人民が

食・衣・住の心配をせず、無病息災で睦まじく暮らす社会、誰もが助け合い、導き合いながら喜びも悲しみも共に分かち合う共産主義的美徳と美風が発揮される人民の社会である。

人民大衆第一主義政治

人民大衆第一主義政治は朝鮮労働党の基本的な政治方式であり、人民大衆の尊厳と権益を絶対的に擁護し、全ての問題を人民大衆の底知れない力に依拠して解決し、人民に滅私奉仕する政治である。

人民を天のごとく見なす

朝鮮で人民は、革命と建設の主人、底知れない力の源、最も全知全能の存在となっている。人民がいてこそ全てがあり、何も

人民の上に立つことができないというのが、まさに朝鮮労働党の人民観である。

これによって朝鮮では、朝鮮労働党の指導思想である金日成・金正日主義の本質が人民大衆第一主義として定式化され、「全てを人民のために、全てを人民大衆に依拠して！」というスローガンが党と国家活動の根本原則、根本方式として確固と位置付けられ、人民の尊厳と権益が最優先、絶対視されている。

人民大衆に依拠する

朝鮮では、国家建設において提起される全ての問題を、徹頭徹尾、人民大衆に依拠して解決している。

全ての奇跡の源泉は、天がもたらした神秘な力ではなく人民の底知れない力にあり、その力に依拠すれば、この世に不可能なことはないというのが朝鮮労働党の政治信条である。

朝鮮で指導者と人民の一心団結がより強固になり、驚異的な成果が絶え間なく収められているのは、他ならぬ人民の底知れない力を信じ、それに依拠して全ての問題を解決していく朝鮮労働党の信頼政治がもたらした結実である。

滅私奉仕

滅私奉仕は、人民大衆第一主義政治において核心となっている。

人民に対する滅私奉仕、これは人民の要求と利益を実現することを最大の重大事とし、人民のためならあまたの財産も惜しまず、さらには生命をもためらうことなく捧げる人民への限りない愛であり、献身である。

滅私奉仕は今日、朝鮮の人民大衆第一主義政治を象徴し代表する時代語となっている。

自立の国

自立的経済

朝鮮民主主義人民共和国は、創建当初から自立的経済を建設してきた。

自立的経済を建設するということは、外国に従属せず、独り立ちできる経済、自国の人民に奉仕し、自国の資源と人民の力に依拠して発展する経済を建設するということを意味する。

朝鮮の自立的経済は多角的かつ総合的な経済部門構造の確立、現代技術による人民経済の装備、国内の原料・燃料・動力基地の構築、技術幹部による経済管理・運営を

基本的内容としている。

生産手段の所有関係

朝鮮では、生産の物質的条件である労働手段と労働対象が社会的集団の共同所有となっている。

朝鮮では、1958年に生産関係の社会主義的改造が実現されて生産手段に対する資本主義的及び私的所有関係がなくなり、社会主義的所有関係の全一的な支配が確立された。

工業の構造

朝鮮の工業は、重工業を主としながら他の全ての部門を同時に発展させる部門構造となっている。

重工業には、石炭工業、鉱業など生産の第一工程を受け持つ採掘工業部門と、

機械工業、金属工業、化学工業などの加工工業部門がある。軽工業には、紡織工業、製靴工業、食品加工工業、日用品工業などがある。

重工業

朝鮮では、経済発展において重工業の占める位置と役割、国の具体的実情を踏まえて重工業の建設に大きな力を入れている。

朝鮮は、重工業の建設において自立的かつ近代的な重工業を建設する路線、重工業のための重工業ではなく、軽工業と農業の発展に役立つ重工業を建設する方針などを堅持している。

朝鮮には、近代的な機械製作工業を核心とする自立的重工業の物質的・技術的土台が強固に築かれている。

軽工業

朝鮮労働党と政府は、人民生活を絶えず向上させることを自己の活動の最高原則とし、人民に豊かで文化的な生活をもたらすため、終始一貫、軽工業の発展に大きな力を注いでいる。

朝鮮は軽工業建設においても、主体的かつ近代的な軽工業建設方針を一貫して堅持している。

今日、朝鮮の軽工業は先進技術によって強固に築かれ、多面的な部門別構造と強固な原料基地を持つ自立的で近代的な工業に発展し、各地に整えられた軽工業部門工場では人民に好まれる良質の一般消費財が生産されている。

農業

朝鮮は近年、新たな農業発展観を打ち

出し、その実行のために努力している。

朝鮮の打ち出した新たな農業発展観は一言で言って、全国の全ての地域、全ての農場を同時的に、かつ均衡的に発展させることである。言い換えれば、特定の地域や農場での多収穫よりも全国の全ての農場、全ての耕地面積で等しくヘクタール当たりの穀物収量を高め、物質的・技術的土台の面でも生活水準の面でも地域間、農場間の格差をなくすことである。

その実行のために、穀物の生産量を大幅に増やし、多収穫品種の優良種子を育種しており、農作物の肥培管理で先進的な営農技術と方法を積極的に研究・適用し、農業の総合的機械化と科学的な用水管理体系を完備するなど、農業の発展を力強く促している。国家は農業の発展に

引き続き大きな力を入れ、農村への国家的投資を増やしている。

商業

朝鮮の商業は社会主義的商業であり、本質上、人民に対する供給活動である。

朝鮮労働党と共和国政府は現在、国営商業を発展させ、給食・便益サービスの社会主義的性格を生かして人民の生活を保障し、物質的福利を増進させており、商業サービス単位では正しい経営方法を活用して商業サービス活動に人民性、文化性、現代性、多様性を積極的に具現している。

交通運輸

朝鮮では、交通運輸において鉄道を人民経済の先行者、国の動脈と規定し、鉄道

運輸を基本としながら自動車運輸、水上運輸を発展させている。

これと共に、輸送体系と方法を改善し、輸送の手配において集中輸送、連携輸送、コンテナ輸送の3大輸送を合理的に行って増大する輸送の需要を満たしている。

国内航空運輸によって、地域間の輸送が一層円滑に行われている。

対外貿易

朝鮮は、整然たる貿易管理システムによって自主性と平等、互恵の原則で世界各国との貿易を発展させている。

対外貿易を多様化、多角化し、投資を広く奨励している。首都平壌と各地域の多くの単位に各種の業種を持つ貿易会社と合弁・合作企業を設立し、生産拠点を

拡大しており、さまざまな展覧会、展示会を通じて多国間、二国間貿易活動を活発に行っている。

地下資源

朝鮮には、鉄鋼用鉱物と鉛、亜鉛などの非鉄金属鉱物、石灰石、石炭などの原料・燃料資源が大量に埋蔵されている。特に黒鉛、マグネサイトなどは世界的にも屈指の埋蔵量を誇っている。

朝鮮の地下資源は多種多様で、しかも埋蔵量が非常に多いのが特徴である。

全面的に開花する首都

近年、朝鮮の首都平壌は、人民の福利と社会主義文明が開花・発展する理想都市、国家の地位と飛躍的発展ぶりが集約

された世界的な都市として日ごとに変貌している。

この5年間にも、松花通り、和盛通り、林興通り、前衛通り、普通江川岸段々式住宅区、大平地区住宅など毎年1万余世帯もの住宅が相次いで建設されて、都市の様相が一新された。

特に、和盛地区には建築の造形芸術性と先進文明が立派に結合されて理想的な調和をなした数万世帯に及ぶ近代的な超高層・高層住宅と、象徴性の強い特色のある商業及び給食サービス施設、文化・情操生活の場が新しい大建築群として立ち上がり、一つの近代的な都市区画が形成されることによって、平壌特有の雄姿と名声を轟かせている。

平壌は今後も、朝鮮建築の急速な発展ぶりと文明開化の変革ぶりを誇示し、より

壮大かつ華麗な都市としてその姿を絶えず変貌させていくだろう。

農村住宅の建設

2021年末、朝鮮労働党は10年、20年の間に全国の全ての農村を社会主義理想郷に新しく変貌させる雄大な目標を打ち出した。

これに従って、全国の農村では地域や地帯の特性を活かした多種多様の独特な農村住宅が雨後の筍のように建てられ、その数は2022年から2024年まで3年間だけでも8万700余世帯に達する。

地方の発展

朝鮮では2024年から、朝鮮労働党が提

示した「地方発展20×10政策」に従って、地方の同時的・均衡的・急速な発展を成し遂げるための壮大な事業が本格的に推し進められている。

「地方発展20×10政策」は毎年20の市・郡に近代的な地方工業工場を新たに建設して、10年内には全国人民の物質・文化生活水準を一段と飛躍させることである。

これに従い、2024年12月末から2025年2月中旬の間に全国の20の市・郡に近代的な地方工業工場が竣工することによって、地方人民の生活を画期的に向上させうる新たな土台が築かれるようになった。

これと並行して2025年からは、各市・郡に先進的な保健医療施設と総合サービス施設、穀物管理施設を建設する

ことを地方発展政策に含め、力強く推し進めている。

今後、朝鮮人民の物質・文化生活には根本的な転換がもたらされるだろう。

4．観光

観光資源

5000年の悠久の歴史と燦然たる文化、秀麗な山河に恵まれた朝鮮には、種々さまざまな観光資源が存在している。

麗しい山や川、渓谷、滝、鍾乳洞、温泉、薬水、動植物などの自然観光資源は言うに及ばず、革命史跡、革命戦跡、歴史遺跡・遺物、大記念碑、朝鮮固有の風習と生活様式、文化財、文学・芸術、それに有名な劇場、博物館、動物園、植物園、工場、企業、牧場、果樹園など社会観光資源も国の至る所にある。

観光地

朝鮮の主な観光地は、首都平壌と人気の高い観光都市である開城をはじめ、元山、

咸興、南浦、沙里院、新義州、羅先市などの主要都市、それに白頭山、金剛山、妙香山、七宝山、九月山、元山葛麻海岸観光地区、馬息嶺スキー場、松涛園その他の名勝の地などである。

朝鮮観光の中心地―平壌

平壌は、朝鮮の政治、経済、文化を代表する首都であり、朝鮮観光の中心をなす都市である。

平壌は、朝鮮西部の平野地帯に位置しており、平壌という地名は文字通り、肥沃な土壌の広がる大地だという意味に由来している。

公園の中の都市という名を持つ平壌には、緑したたりさまざまな花が咲き乱れる牡丹峰と公園、遊園地が処々にあり、悠久の歴史を偲ばせる遺跡も多い。

とりわけ平壌には、チュチェ思想塔と凱旋門、人民大学習堂、メーデー・スタジアムなどの記念碑的建造物が数多くある。

朝鮮の聖山―白頭山

朝鮮の北部地域に位置している白頭山は、標高2750メートルで、朝鮮で一番高い山である。

朝鮮の祖先は古くから白頭山を朝鮮の尊厳、朝鮮の気象として誇り、英知に富み、勇敢かつ清い朝鮮人民の魂が白頭山で形成されたと信じていた。

白頭山地区には、抗日革命闘争を勝利に導いて祖国の解放をもたらした金日成主席の革命活動史が秘められている広い大露天博物館が展開されている。

そして、金正日国防委員長が生まれた白頭山密営の生家があり、生家の後ろには

正日峰が巍然とそびえている。

白頭山は秀麗、荘厳、雄壮なばかりか、風景が多様かつ優美であり、地形、地質、気象・気候、動植物相も特異である。特に、白頭山天池は千変万化する特異な自然現象によって、ここを訪れる踏査者や観光客の感嘆を呼び起こしている。

1989年に世界生物圏保護区として登録された白頭山地域は、2025年4月に世界地質公園としても登録されて、その観光的価値はより大きくなっている。

人気の高い観光都市—開城

平壌の南方に位置する開城は、高麗(918～1392)の国都として栄えた歴史の都市である。

そのため、この地区には2013年に世界文化遺産として登録された開城南大門、王建王陵、高麗成均館、開城瞻星台(天文台)などの遺跡・遺物が多い。

この都市は世界的に名の知られた薬材である高麗人参の原産地であり、長い朝鮮人参栽培の歴史を有している。

世界的な名山—金剛山

朝鮮南部の東海岸に530平方キロの広い地域を占めている金剛山は、山岳美、渓谷美、樹林美、瀑布美、海洋美、風雲調和美が結合した朝鮮の名山、世界的な名山である。

2018年に世界生物圏保護区、2025年7月に世界文化及び自然遺産として登録された金剛山地区は、1万2000に及ぶ峰と千差万別の奇岩、巨大な層岩絶壁とそれらに挟まれた深い渓谷と数知れぬ滝、清く澄んだ水の流れ、湖と淵、海辺の特異な風景、美しくも

珍しい動植物が見事に調和して神秘境をなしている。

金剛山地区には、原始時代から古代と中世に至るまでの遺跡・遺物も多くて、観光客の格別な関心を引いている。

絶勝―妙香山

朝鮮中部に位置している妙香山は、朝鮮の名山の中でも指折りの絶勝の一つである。

妙香山の特徴は、自然の美と雄壮さを全て備えていることである。数知れぬ峰や巨岩、深い渓谷、高い崖、清い水、滝、うっそうたる樹林などは、いずこを眺めても絶佳絶景である。動植物相も非常に豊富である。

今一つの特徴は、普賢寺をはじめ、多くの文化遺跡・遺物が保存されていることである。

妙香山には、金日成主席と金正日国防委員長、金正恩（キムジョンウン）総書記への世界人民の深い敬意と欽慕の念がこもっている国際親善展覧館がある。

妙香山地区は2009年、世界生物圏保護区として登録された。

元山葛麻海岸観光地区

朝鮮東海の葛麻半島の南東方の海岸に位置している元山葛麻海岸観光地区は、昔から絶景で名が知られた朝鮮東海岸の観光名所である。

長さが十里もある有名な砂浜だからといって一名「明沙十里」とも呼ばれる元山葛麻海岸観光地区は、2025年6月、朝鮮観光業を代表する近代的な海岸観光都市として変貌を遂げた。

この観光地区には、名勝を訪れる観光客が

好みに合わせて選択できるほぼ2万名宿泊能力のホテルや旅館、全ての条件を完備した海水浴サービス施設、多様なスポーツ・娯楽施設、商業及び給食サービス施設が整えられていて、ここを訪れる観光客に大きな喜びとロマンを与えている。

テーマ観光

朝鮮では運転愛好家観光、自転車観光、平壌市空中遊覧観光、山岳マラソン観光、建築観光、サーフィン観光、大衆交通手段観光、労働生活体験観光、テコンドー観光、列車観光、スポーツ観光、登山観光、飛行機愛好家観光など多様なテーマ観光を行って観光の内容をより豊かにしている。

観光サービス機関

朝鮮には、国の観光事業を統一的に指導・管理する国家観光管理機関として朝鮮民主主義人民共和国国家観光総局があり、朝鮮国際旅行社、平壌高麗国際旅行社、万景国際旅行社、朝鮮国際スポーツ旅行社、朝鮮国際テコンドー旅行社をはじめとする多くの旅行社がある。

各旅行社は、世界の各地から観光客を受け入れ、多様なスケジュールの観光サービスを提供している。

各旅行社には、英語、ロシア語、中国語、ドイツ語、スペイン語、フランス語などのいろいろな外国語で高レベルの通訳を行うガイドと観光運輸手段、レストラン、土産物売り場なども準備されている。ロシアや中国など複数の国に観光事務所を置いている。

朝鮮民主主義人民共和国は、1987年9月に国連世界観光機関(UNWTO)、1996年4月には太平洋アジア旅行協会(PATA)に正式メンバーとして加入している。

観光の見通し

朝鮮は、観光産業を文化分野の開花・発展を促し、当該地域の振興を推し進め、国家経済成長に資する原動力と見なし、観光業の発展に大きな力を入れている。

元山葛麻海岸観光地区を世界的な海岸観光都市として建設して観光産業建設の画期的な里程標をもたらした朝鮮は、ここで得た成果と経験に基づいて、国の各地域にさまざまな類型の有望な大規模観光文化地区を最短期間内に打ち建てようとしている。

ホテルや観光道路、サービス施設を近代的に整え、観光インフラを完備し、固有のサービス方法とサービス能力を確立するとともに、新たな航路と海上路を開設するための活動が活発に行われている。

朝鮮豆知識

執　筆 ： 韓秀英
編　集 ： 韓秀英
表　紙 ： 崔恩赫
発行所 ： 朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
発行日 ： 2025年12月

ㄱ- 250880405393

E-mail: flph@star-co.net.kp
http://www.korean-books.com.kp



ISBN 978-9946-0-2664-0
9 789946 026640